



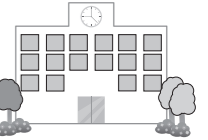
## 小中学校エアコン論争、決着へ

今議会で「市立小・中学校の普通教室にエアコンの設置を求める決議」が全会一致で採択されました。

市長から、はじめて「検討に着手し、早急に設置したい」という前向きな答弁があったことから、どうやら、この問題は動き出しそうです。ちなみに、現在、普通教室にもエアコンが完備されている公立校は、市内では新設の東中学校のみです。

教室がすかべフェルマータクラブで、この問題をテーマに小学生たちとディベートを行いました。参加した子どもたちからは、「勉強していて汗が教科書やノートの滴り落ち、後でくっついてページが開かなくなった」とか、「教室が暑いので窓を開けて授業を受けていたら、スズメ蜂が入ってきて大騒ぎになった」など、早くエアコンをつけ

て欲しいという切実な声がかかれた一方、「僕の教室はあまり暑くないから大丈夫」とか、「扇風機の方が健康的だし、CO2も出さない」、「暑い時期はあるが、そのために夏休みがあるのでは」という、意外に冷静な意見も聞かれました。ともあれ、市内の公立小中学校には近い将来、エアコンが完備される方向となり、先生や保護者、子どもたち、そして市議会を巻き込んだエアコン論争は、ひとまず決着がついた形です。



## 「何をやってるの？市議会」 議会報告会開催のお知らせ

春日部市議会は、9月議会の内容を中心に市民の皆さまに向けた報告会を、2日間にわたって行います。議会ではどんなことが話し合われ、何が決まったのかを各議員自らご説明します。本議会は平日に開催されるため、なかなかお越し頂けない方も多いと思いますが、報告会は週末に行われますので、ご関心のある方はぜひご参加ください。詳細は、以下の通りです。

### 【1日目】平成26年 10月25日(土)

- 時間 午前9時30分から正午
- 会場 東部地域振興ふれあい拠点施設4階会議室 (ぼぼら春日部=春日部駅西口より徒歩5分、ララガーデン春日部隣り)
- 分野 財政、防災、街づくり、都市計画など
- 担当 総務委員会 (小久保、矢島、卯月、鬼丸、滝澤、鈴木、会田、栗原)、建設委員会 (中川、蛭間、小島、松本、斉藤、井上、岩谷、木村)

### 【2日目】平成26年 10月26日(日)

- 時間 午前9時30分から正午
- 会場 庄和総合支所1階市民ホール(元庄和町役場)
- 分野 子育て、福祉、教育、環境など
- 担当 厚生福祉委員会 (金子、海老原、古沢、並木、山崎、武、大野、水沼)、教育環境委員会 (佐藤、荒木、栄、吉田、石川、今尾、河井、坂巻)

\*いずれも受付開始は午前9時より。予約不要、参加費無料。お問い合わせは、春日部市議会事務局 ☎048-736-1111 (内線3116) まで。

## 9月議会・一般質問

### 質問 1

## 新市立病院における患者サービスの充実を ——安心して受診できるように、新しい体制を準備中

**Q** 新市立病院の建設工事が本格的に始まりました。立派な施設を作るのも結構ですが、来院される患者の方の立場に立った、思いやりのある患者対応を徹底し、市民か

ら愛される病院にして欲しいと考えています。私自身、「きれいな性発声障害」という声が出しづらくなる少し珍しい病気を患っていますが、初診で病院を訪れた際、どの診療科にかかっていいかもわからず、戸惑った経験をしており、患者サービスの充実について、どういった方針で取り組むお考えですか。

**A** 新病院では、総合案内や外来の待合、患者図書室に看護師や看護助手、ボランティアを配置し、病気や診察についての相談や院内の案内に対応していきたいと考えており、そのための教育を今から始めています。

また、診療科が特定できない初診患者に対して、「総合診療科」「予診室」を新

たに設けて、安心して受診していただく体制を整備する予定です。  
(市立病院事務局)

**備考** 新市立病院の整備は、その建設費用だけでも100億円以上の予算を投入した大事業です。しかし、利用者から信頼される良い病院というのは、必ずしも施設が充実しているだけでありません。そういう意味では、いまの市立病院が患者サービスの点で、市民から決して高い評価を受けてはいないことを前提に、自分の経験も交えながら、患者サービスの充実

に絞って質問しました。

平成22年に策定された市立病院の再整備計画基本構想の中には、「患者中心の医療サービスの提供」、「思いやりのある、親切で、やさしい、ふれあいの医療」を目指すこととあります。私はこれを単なるスローガンにすることなく、ぜひ実践してほしいと、強く要望しました。



新市立病院の完成イメージ



平成26年度9月春日部市議会定例会は、8月25日から始まり、様々な事がありながらも、9月19日に予定通り全日程を終えました。今回、私は現在建設中の新しい市立病院の患者サービスに関して、また、市内のスポーツ施設の充実、そして、前定例会に引き続き、私がライフワークとして取り組んでいる自然エネルギーの推進に関して、市の見解を質しました。この一般質問でのやり取りのほか、今定例会で審議された議案・質疑の中から、特に皆さんにお伝えしたい問題や話題をご報告いたします。

## 編集後記

今回、扱われた議案の中で、「エネルギー基本計画の見直しを求める意見書」がありました。政府に対し「再生可能エネルギーを重視した基本計画に改め、原発の再稼働の断念を求める」というものです。この意見書に対し、私の所属する会派は、「反対」の結論を出し、本会議でも反対多数で否決されました。

私は同議案の採決直前に議場を退席しました。この行為は、議案には賛成も反対もありませんが、実質的に「会派の結論に従えない」という考えを表明したものです。それは、どうしても曲げられない自分の信念と、真剣に議論し合った会派の仲間への敬意との狭

間を悩んだ末の、私なりの結論でした。いま、日本は原発ゼロの状態です。それでも、電気は足りていますから、この間にあらゆる自然エネルギーの技術革新に取り組むべきと私は考えています。もし、原発の再稼働が行われれば、自然エネルギーの進歩を急ぐ必要はなくなり、その普及は大幅に遅れるからです。

議会では、全ての論理で物事が進みますから、ひとりでは何も変えられないというのが現実です。しかし、有権者の方々に対し、自分の考えを表明して働く議員にとっては、どうしても譲れない事柄や分野があるものです。そのひとつが、私にとってはエネルギー問題なのです。

議会は、全ての論理で物事が進みますから、ひとりでは何も変えられないというのが現実です。しかし、有権者の方々に対し、自分の考えを表明して働く議員にとっては、どうしても譲れない事柄や分野があるものです。そのひとつが、私にとってはエネルギー問題なのです。

## 今号の内容

### 9月議会・一般質問

- ①市立病院の患者サービス
- ②スポーツ施設の充実を
- ③一般家庭も電力会社が選べる→市民への周知は

### その他

- ◆春日部駅の東西交通は
- ◆視察報告/被災地を訪ねて
- ◆小中学校のエアコン、全校設置へ

▼1969年生まれ、45歳  
▼杉戸高校、大東文化大学経済学部卒業 (国際政治ゼミ)  
▼保育士の妻、小学6年生の息子、4歳の娘と春日部市藤塚に暮らす  
▼NPO法人春日部FM代表。同法人は子どもから大人まで集う週末教室「かすかべフェルマータクラブ」を主宰  
▼埼玉新聞社、JICA (独立行政法人国際協力機構) 等を経て、産業カウンセラーとして生活保護受給者の自立支援に従事した後、平成26年4月20日の春日部市議会議員選挙に初出馬し当選を果たす  
▼高校まで硬式野球部。走る、文章を書くことが得意、血液型AB、左利き  
▼信条は、自然エネルギーを推進すること、子どもたちに安心・安全な社会を残すこと

古沢こうさく  
プロフィール